

広葉樹の高付加価値化に向けた勉強会（令和5年7月31日開催）

・ 栃木県庁塩谷庁舎（栃木県矢板市）

栃木県における広葉樹の素材生産量は全国第4位の87千 m^3 （令和3年木材需給報告書）ありますが、これまでその多くが低質材として販売されています。こうした広葉樹の中には、価値の高い広葉樹も含まれており、このような「お宝広葉樹」に気づくことで、森林資源の経済的価値を向上させ、活用の可能性を拡大していくことが可能となると考えられます。

そのため、森林技術総合研修所の講師を務められた栃木県矢板森林管理事務所の津布久氏から「その丸太、〇万円で売れますよ」と題した講演を聴き、広葉樹材の市場での期待、着目すべき点、市場に供給するための対応策などについて、意見交換を行いました。

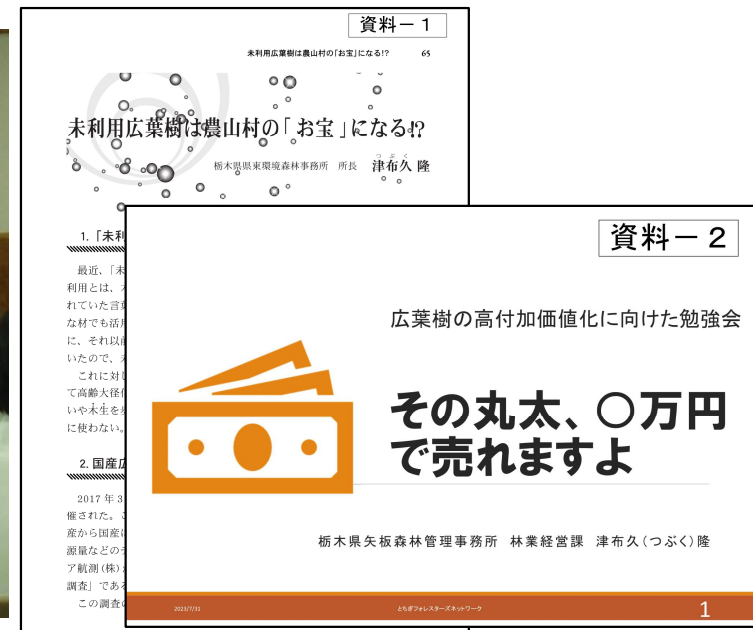
なお、本勉強会は、栃木県内全ての市町に通知して開催し、栃木県、国有林職員を含め44名が参加しました。



勉強会には44名が参加



津布久氏による講演の様様



津布久氏による講演資料